

Active Float



ショアからのバーチカル釣法「You-Do メソッド」とは！



新世代のフロートリグ ~ You-Do リグを用いることにより可能となる「You-Do」メソッドとは何か？
話題の新釣法について、メバル、アジを例にご紹介します。

テーマ：「メバル・アジの You-Do メソッド」について

ターゲットエリア

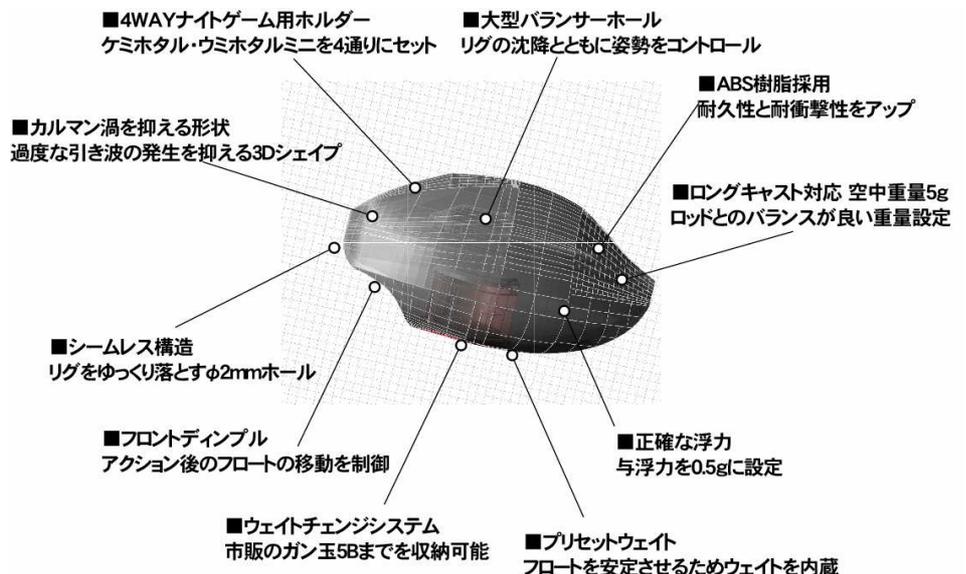
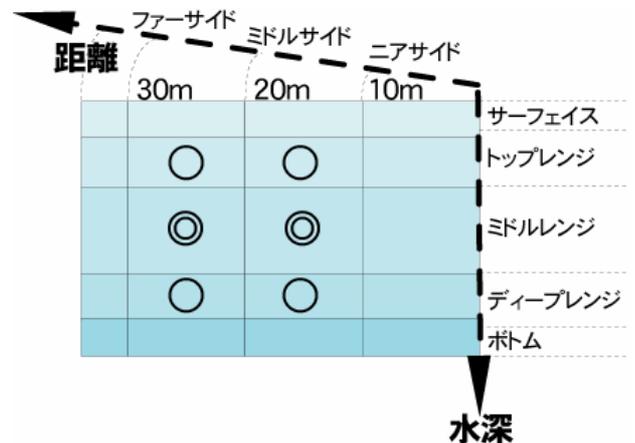
- 距離：ミドルサイド(中距離) ~ ファーサイド(遠距離)
- レンジ：ミドルレンジをメイン ~ トップレンジ・ディープレンジまで
- 魚種：メバル、アジ、カマスなど、泳層が広い魚種全般。

リグ及びマストアイテムの特徴

- メソッド：You-Do リグ・フロートリグ
- キーアイテム：アクティブフロート RS
- カテゴリー：フロート

製品概要解説：

リグをゆっくり沈めてレンジを探る You-Do リグ対応フロート。フロートを沈めてレンジを探る You-Do リグにも対応。沈降速度コントロールが可能、シームレス構造遠投用フロートとして使用可能。



リグ構成パーツ

- タックル _____ : ロッド、リール、ライン
マストアイテム : アクティブフロートRS
マストアイテム : NR ジグヘッドスナップ&NR ストリーム
サブアイテム : ワーム&フック / ワーム&ジグヘッド(軽量) / カブラ
マストアイテム : NR リグストッパー
マストアイテム : ガン玉 G3~5B
マストアイテム : ケミホタル 25

ロッド

6g前後のリグがキャストできるものであれば、使用できます。
標準的なロッドは、メバル、アジ用ロッド 7.6ft 前後(やや硬めが使いやすい)ロックフィッシュ用ロッド全般、シーバスロッド Ultra Ligth クラス 2g~10g 程度でも構いません。
ロッドアクションにおいても好みのもので結構です。
レングスの制約はなく、7ft~8.6ft のロッドであれば快適に使用できます。ロングロッドは、風が強い時はティップと海面の距離を短くできることと、飛距離が伸びるので有利ですし、ショートロッドは、アクションがかけやすいえ、コントロール性に優れ手返しよくキャストを繰り返すことが可能です。



リール

使用するラインポンドと糸巻き量に合わせて小型のスピニングリールを準備してください。
ロックフィッシュやメバル、アジを PE ラインで狙うのであれば、バックラッシュが発生しにくいものを選んでください。

ライン

標準的には、ナイロン・カーボンであれば、2~8lb、PE だと 0.3~0.8 号程度です。
ラインの制限はありませんが、細いラインはリグをストレス無くフォールさせることができますので有利です。
PE ラインだとリーダーとの結束部がフォール中にひっかかる可能性があるため、リーダーをフロートから下の部分(30~50cm)にして、結束部にリグストッパーを取付けると、フロートの遊動部に結束部がなくなりますので、ひっかかりを防止できます。

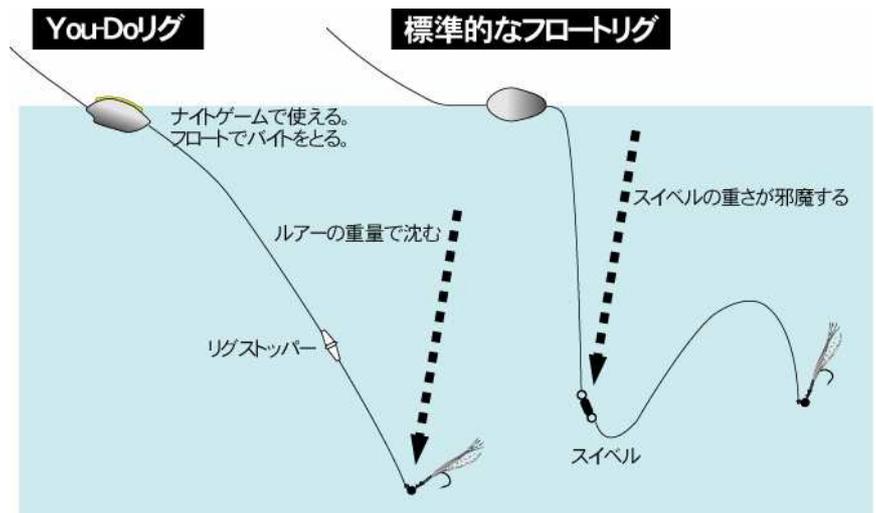
フック・ルアー

NR ストリームシリーズのフライが最適です。
付属のジグヘッドスナップにフライやカブラを取り付けると、ガン玉が取り付けられるので便利です。
ワームを使用する場合は、予めメバルフックにワームを刺しておきましょう。
ジグヘッド+ワームを使用する場合は、0.5g 以下の小型のものを用意してください。



セッティング:

You-Do リグは、メインライン又はリーダーにアクティブフロートRSを通した後に、リグストッパーを通し、フライ又はフックを結束します。
フォールスピードをコントロールするのがサブウェイト(ガン玉)の役割です。
標準的なフロートリグと異なる点は、ラインとルアーが直線になるよう専用フロートを使用することと、なるべくスイベルを使用せず、G2~B 程度のガン玉を、ルアーの真上に付けます。別売のジグヘッドスナップにガン玉を付けるとラインが傷つかないえ、フライ



の交換が簡単にできます。

G2(0.3g)程度が標準的なフォールスピードですが、風や潮流が強いとスピードが遅くなりますので、ガン玉を交換してください。また、フォールスピードは深くなるほどラインの抵抗で遅くなりますので状況に応じて調整してください。

適合フィールド:

近場の漁港・防波堤から近郊の地磯・ゴロタ場・消波ブロック帯などが狙い目です。

ウィードやストラクチャーが狭い範囲の場合や消波ブロックの際など、キャスト後一定箇所を長時間探ることができます。

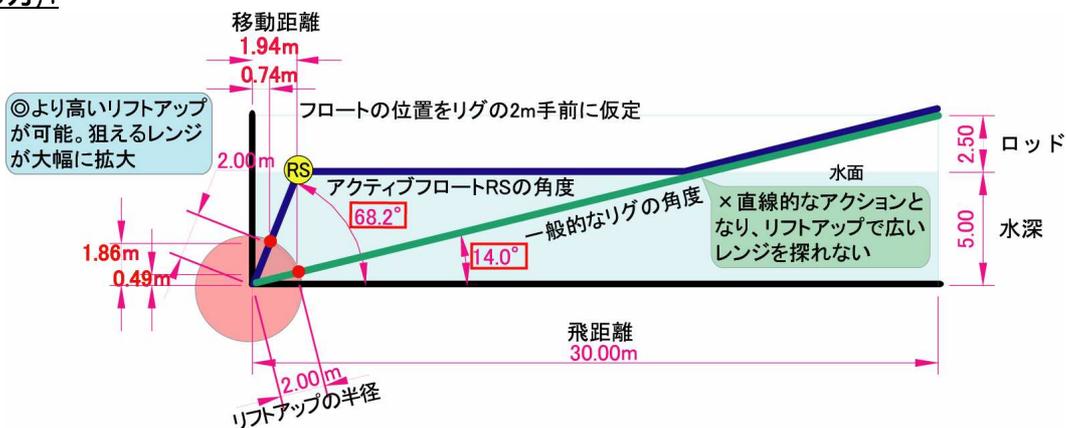
特徴を活かしたメソッド(釣り方):

You-Doメソッドには、アクティブフロートRS(レンジスナイプ)という、上下のレンジを自在に探る対応フロートを使用します。アクティブフロートRSを使う理由は、フロートを使うことによってより大きなレンジを探る事ができるためです。

それはファーサイド(遠投時)に顕著に表れます。

右上の図で説明しますと、通常のリグで、水深5m程度の一般的なフィールドを想定し、8フィート(2.5m)のロッドを使用して30mのキャストを行った場合、単純に計算すると、2mのリフトアップにおいて、リグとフックの角度が14~15度程度となり、約50cmしかリグを持ち上げられないのに対し、アクティブフロートRSを使用することにより70度前後の角度が保たれ、2mのリフトアップで180cm以上リグを持ち上げることができます。

ラインの種類や太さによってこの差は増減しますが、このメリットは大きく、水深5mの場所で5mのリフトアップさえ可能であり、フルレンジさえ探れる事を意味します。



メバルを例にあげて釣り方を説明しますと次のようになります。

これまでのメバル釣りは、一定のレンジまでリグを沈め、リトリブをし、キャストを繰り返す横方向の釣りが主体でした。

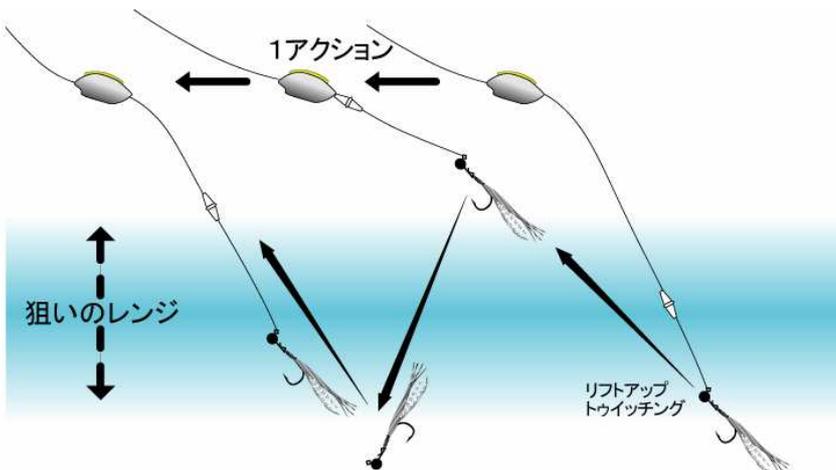
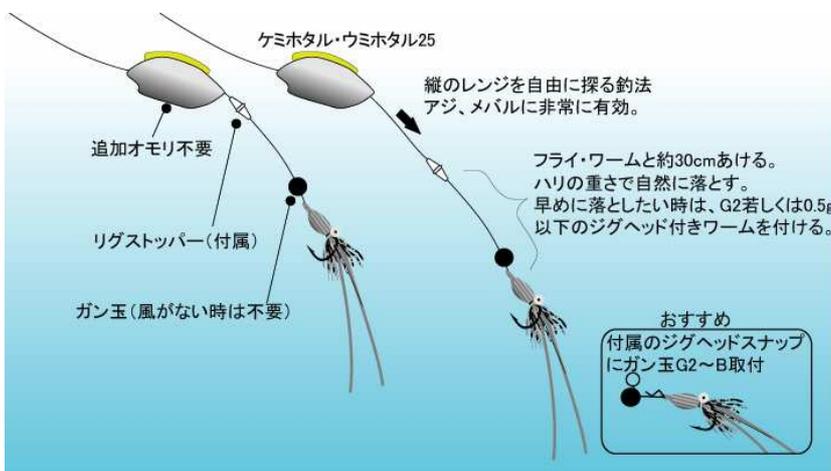
ターゲットの泳層にリグが到達しない時や、泳層を通過した場合は、なかなか魚は口を使ってくれません。

特にビギナーが他の人が釣れない時に釣れたり、逆にまったくポーズだったりするのは、釣り方にムラがあることによって、たまたま泳層にマッチしたか否かということが原因といえます。

しかし泳層を探るのは、熟練したアングラでも思い通りにはいかないものです。You-Doメソッドは、フロートの浮力を利用することにより、ビギナーでも容易にレンジを探り、ターゲットの泳層を探り当てることができるのです。

<メソッドについて>

リグのセットについては、先ず上の仕掛図を参考に仕掛けをセットしてください。バイトが極端に小さい時や軽いリグを使う時以



外は、フロートに追加ガン玉を内蔵させずに使用します。

You-Do メソッドの基本操作は、フロートを起点にゆっくりリグを落とすことを繰り返すことです。

リグが任意のレンジまで到達したと判断したら、リグをリフトアップ(引き抜き)又はトウイッチングで階段状にルアーを見せ、再びフォールさせます。このアクションを繰り返すことにより、リグ全体は徐々に手前に近寄ってくるため、フライやワームは緩やかに前傾姿勢を保ちながらスイムします。以上でお気づきかと思いますが、You-Do メソッドは、エギングとの類似点が多いアクションといえます。ルアーが1g未満であり、エギと比較すると 1/10 以下なので、単体では操作が難しく、専用フロートのアシスト機能ではじめて実現するメソッドであると理解してください。

<ガン玉のセット>

フォールは前述の通りG2(ガン玉2号)を付けてフリーフォールする程度を目安にしてください。

それ以上のガン玉を付ける場合はテンションフォールさせるなど、魚の活性に合わせて落とすスピードを加減してください。

太めのラインを使用する際や、横風が強い場合はフォールスピードが遅くなりますので、やや重めのガン玉にすると良いでしょう。標準的なリグにG2のガン玉を付けて5mの水深でフリーフォールさせると、約10秒でボトムまで落とすことができます。魚種とTPOに合わせ、底まで落とすか否か?どのレンジを探るかはアングラーの腕の見せどころです。

根掛かりが心配ならば、市販のシモリとORレンジキーパーをセットしておけば、一定のレンジ以上には沈まないし、レンジに達した時は、リグの重さでウキに変化がでますので目安にもなります。

<バイトの出方とあわせのタイミング>

バイトはラインがフロートに固定されていないので、鮮明に現れます。

バイトは、フォール中に出ることが多く、ラインに変化がでたり、フロートが水中に消し込みます。

ナイトゲームでは予めケミホタル25をセットしておくタイムラグなくアワセを入れられます。

早アワセか遅アワセが良いかは、ターゲットの活性によって異なりますので、フッキング率をみて決めてください。

魚種によって異なりますが、活性が低い時や、ボトム近くでバイトした時は、フロートがもぞもぞと変化するので、それがアワセのタイミングとなります。

リフトアップやトウイッチングの時にフッキングするのは、フォール中に居食いしたためです。

バイトが取りにくいときは、ラインスラッグが多く出ているためであるので、ラインが張り気味になるようロッドをたててフォールスピードをコントロールしてください。

<ケミホタルの取付位置>

アクティブフロートRSは、ラインの沈降角度とロッドのティップの角度を平行に近くするため、フロートには30度の傾斜を設けており、ライン滑りと感度を両立させています。

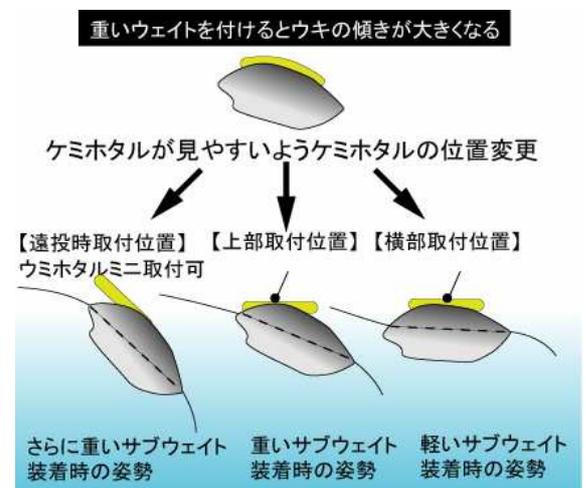
また、ワンキャストでのアクション数を増やすため、前面にディンプルを採用しました。そのため、ケミホタルは頭部と横部に刺す構造となっております。

標準は右図の最上部の通り、ボディの形状にそって抑えると、ライントラブルもほとんど発生しません。

取り付けるガン玉の大きさによってウキの傾き角度が変わりますので、ケミホタルが見にくくなることがあります。

その際は、見やすい位置に取り付けてください。

ロングキャストをする場合は右図の通り、ボディから先端部が出るようにセットすると最も視認性が良くなります。



<強風・急流のときは>

究極ともいえる You-Do メソッドの大敵は強風と速い潮流です。

メバルの最盛期は、北風が強いことが多く、リグにガン玉を追加しても、ラインが風や潮に引かれて、落ちにくくなります。

過剰にガン玉を追加するのは、風の強弱によりフォールスピードのムラが大きくなります。

この悪条件を克服する方法は、アクティブフロートのウェイトチェンジシステムを活かし、ガン玉をセットして、フロートそのものをスローシンキングさせる方法です。

フロートの与浮力は0.5gに設定していますので、フロートにはガン玉B以上(最大5Bまでを組み込み可能)を組み込みますとフォールします。ゆっくりフォールさせるにはB~2B程度を組み込みます。

ナイトゲームではケミホタル25使用により、フロートが徐々にフォールしていく様子を確認することができます。

フロートがメインラインを沈めるので、風の影響は非常に少なくなり、強風時のメインリグとして使用できます。
フロートそのものをフォールさせた場合、フロートとリグストッパーが離れた状態にはならないので、トゥイッチングは鈍くなり、リフト&フォールを主体にアクションしてください。
ロッドティップの先で、リグをウィードやストラクチャーに送り込むような操作をイメージすると、ルアーの位置をティップで感じるようになります。ラインスラッグを出さず、やや張り気味にしておくと、タイムラグなく鮮明にバイトが確認できますが、反射的にアワせてしまうことが多いので、慌てずに行いましょう。

<一般的なフロートリグとしての使用>

一般的なキャスト&リトリートを繰り返すフロートリグとしてもウェイトチェンジシステムを内蔵していますので、手返しも速く、快適に使用することができます。
アクティブフロート RS はひとつのフロートで、リグを取り替えることなく、フローティング/サスペンド/シンキング/ファストシンキングタイプとして4通りに使うことが可能です。
体積があるので、レンジキープは容易にできますが、リグが上ずる傾向がありますので、任意のレンジを探る場合、フロートに組み込むガン玉でコントロールしてください。
ガン玉単体を組み込んだ場合のシンキングスピードを記していますので参考にしてください。You-Do メソッドの基礎についてご説明しましたが、やってみると意外に簡単にできますので、お試しください。

最後に:

アクティブフロート RS は、延べ 300 日に及ぶフィールドテストの結果、単純なリトリートと比較し、140%以上のアドバンテージ(バイト数)を記録しました。
横のアクションから縦のアクションへ～アクティブフロート RS の登場により、You-Do リグはバーチカルアクションをオフショアに限ることなく、ショアからのゲームでも可能になりました。
遠投性能に優れたフロートリグは、フォールさせる機能を身に付け、第3世代の現在ではレンジを探るセンサーとして進化し続けています。今後、フロートはルアーフィッシングにおいても、大きな可能性を引き出すアイテムとなるでしょう。

福岡県遠賀郡遠賀町若松 203
株式会社 釣 研
代表:093-291-2233
営業部:093-291-2255
オーシャンルーラー事業部:093-291-2525